

平成19年度事業計画

日本アルコール産業株式会社

2007年3月30日

・アルコール事業

アルコール市場完全自由化2年目にあたり、特約店との連携の強化、その他、あらゆる機会を通じて市場情報を収集し、当社の販売機会を拡大することによって、12～15万kLの販売目標を達成いたします。また、全社を上げてコスト削減のため、できる限りの努力を重ねていくことにより競争力を強化いたします。

1 . 経営基盤の整備

事業運営の合理化、コスト削減

- 組織の見直しや製造原価の低減等徹底した経費削減を全部門で行います
- 製造管理技術の確立と運転技術力の向上により製造コスト低減に努めます
- 原料粗留アルコール購入は、中期契約とスポット契約方式を適切に併用し安定かつ安価に調達いたします

2．販売・製造・品質管理

販売計画

- 販売・製造数量は12～15万KLを目指します
- 特約店経由での販売をベースとし直接販売の拡大、新規分野への参入アプローチを行います

販売製品

- 主力製品は、原料由来等の情報をお客様に提供することで、製品に対する信頼感を得られるよう取り組みます
- カスタマーニーズを把握し、お客様の期待に応えた新製品の開発と付加価値・差別化の取り組みを行います
- 基本製品構成：99度1級　95度特級　95度1級

品質管理

- 品質管理を徹底し安全で安心な商品を提供いたします
- 製造管理技術の確立と運転技術力の向上により、製品品質の安定化を進めます
- 技術開発を推進すると共に分析技術を向上させます

3．その他

顧客満足度の向上

- 顧客満足度向上のため、お客様との更なるコミュニケーションを図り、迅速に事業に反映いたします

コンプライアンス

- 健全な事業活動を遂行し、お客様、株主、社会から信頼される会社を目指します

環境問題への配慮

- ISO14001の適切な運用により環境負荷の低減を常に意識した事業活動を展開いたします

人材育成と組織の活性化

- 更なる意識改革を図り常に改革・改善にチャレンジしてゆく社員集団を目指します

・アルコール事業以外の事業

アルコール事業以外の事業については、保有する固定資産、知的資産及び人的資源や資金を有効に活用し、新規事業展開に向けた整備を進めます。

発酵副産物関連事業

- アルコール発酵工程から生じる副産物を有効活用した新製品の製造販売体制を構築いたします

アルコール関連商品事業

- 新たなニーズの発掘やアルコール需要拡大を目指し、アルコール使用商品の販売を開始いたします

その他（不動産関連事業等）

- 工場跡地等の保有資産の有効活用について検討を進め、早期の収益確保を目指します

収支計画概要

19年度事業計画では、全社を挙げたコストダウンへの取組みを行い、経営基盤の強化と競争力を高めることにより、損益目標を達成いたします。

(単位：百万円)

売上高	23,910
営業損失()	134
営業外収益	68
税引前損失()	66

資金計画概要

(単位:百万円)

区 分	金 額	区 分	金 額
. 資金収入		. 資金支出	
1. 営業的収入	24,411	1. 営業的支出	23,600
(1) 営業収入	24,269	(1) 営業支出	23,600
(2) 営業外収入	142	(2) 営業外支出	0
2. 資本的収入	14	2. 資本的支出	160
(1) 借入金	0	(1) 設備投資	155
(2) 敷金戻し入れによる収入	14	(2) 借入金返済	0
		(3) 敷金預入による支出	5
3. その他	747	3. その他	646
4. 前年度よりの繰越金	6,955	4. 翌年度への繰越金	7,720
計	32,128	計	32,128

(注)百万円未満切り捨て表示